

[植栽環境に適応した街路樹の樹形管理方法の確立]

街路樹用低木類の評価

佐藤澄仁・福原修斗

(緑化森林科)

---

【要 約】既存樹種に比較してイヌツゲ「ゴールデンジェム」,「ヒレリー」,フイリヒメトベラ,オタフクナンテン,ビブルナムハリアナム,セイヨウツゲ「エレガントシマ」は伸長量が低く,維持管理費が抑制される可能性がある。

---

【目 的】

都内の街路樹低木は,オオムラサキツツジやサツキツツジの割合が高く偏りがある。都内の街路樹は,高木間植栽を進めてきたことから視距の確保が課題となっている。また,道路管理者からは樹木の多様性や樹高を低く管理ができ,低管理コストの樹種を求めている。街路樹の巨木化などにより,これから更新する時期であることから低木の植え替えも見込まれる。

そこで,都市環境耐性のある低木類について,生育が緩慢で管理コストが低い樹種の選定を行う。

【方 法】

1. 2019年3月19日,オオムラサキツツジ他10種を赤土客土畑に株間60cmで植栽した。施肥は普通化成肥料(8-8-8)を,成分量で1kg/a定植時に施用した。植栽時のみ灌水を行い,それ以降は行わなかった。調査は樹高,枝張り,幹径,鑑賞特性について植栽時と11月18日に行った。植栽初年度であるため,刈り込みは行わなかった。
2. オオムラサキツツジとサツキツツジを対照樹種として,イヌツゲ「ゴールデンジェム」他6種の都市環境耐性樹種とセイヨウツゲ「エレガントシマ」他1種の鑑賞性の高い樹種について調査した。供試樹種は,挿し木3年生から5年生のコンテナ苗とした(表1)。

【成果の概要】

1. オオムラサキツツジやサツキツツジと比べ,樹高や枝張りの伸長が低かった樹種は,イヌツゲ「ゴールデンジェム」,「ヒレリー」であった。樹高の伸長量はオオムラサキツツジと同等であったが枝張りが大きかった樹種はフイリヒメトベラ,オタフクナンテン,ビブルナムハリアナム,セイヨウツゲ「エレガントシマ」であった。オオムラサキツツジと比べ,セイヨウバクチ「オットライケン」,ヒメシャリバイは樹高も枝張りも大きかった。
2. これらのことから,都内街路樹低木として植栽株数の多いオオムラサキツツジやサツキツツジと比較してイヌツゲ「ゴールデンジェム」,「ヒレリー」,フイリヒメトベラ,オタフクナンテン,ビブルナムハリアナム,セイヨウツゲ「エレガントシマ」は伸長量が低く維持管理費が抑制される可能性がある。

【残された課題・成果の活用・留意点】

鑑賞特性に配慮した刈り込み剪定時期や回数,刈り込み剪定後の生育特性や鑑賞特性を把握する。

表 1 供試樹種の定植時の生育

樹種名	学名	植栽時			都市環境耐性
		樹高 (cm)	枝張り (cm)	幹径 (mm)	
イヌツゲ「ゴールドンジェム」	<i>Ilex crenata</i> 'Golden Gem'	15.9	22.9	8.4	耐浸水、耐乾燥
イヌツゲ「ヒレリー」	<i>Ilex crenata</i> 'Helleri'	28.6	36.2	14.1	耐浸水、耐乾燥
オタフクナンテン	<i>Nandina domestica</i>	39.3	29.5	6.6	耐浸水、耐海水、耐乾燥
ヒメクちなシ	<i>Gardenia jasminoides</i>	30.7	23.4	8.9	—
セイヨウカ「エレガントシマ」	<i>Buxus sempervirens</i> 'Elegantissima'	24.4	25.7	11.7	—
セイヨウカ「オットライケン」	<i>Prunus laurocerasus</i> 'Otto Luyken'	28.3	23.9	10.2	耐浸水、耐乾燥
ビブナム ハリアム	<i>Viburnum harryanum</i>	34.0	33.0	12.6	耐浸水、耐乾燥
ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis indica</i> 'Umbellata'	46.5	35.6	8.3	耐浸水、耐海水、耐乾燥
フイリヒメトベラ	<i>Pittosporum tobira</i> 'Variegatam'	35.8	40.2	12.0	耐浸水、耐海水、耐乾燥
オオムラサキツツジ	<i>Rhododendron pulchrum</i>	24.3	32.3	8.3	耐浸水、耐乾燥
サツキツツジ	<i>Rhododendron indicum</i>	27.4	32.0	9.8	耐浸水

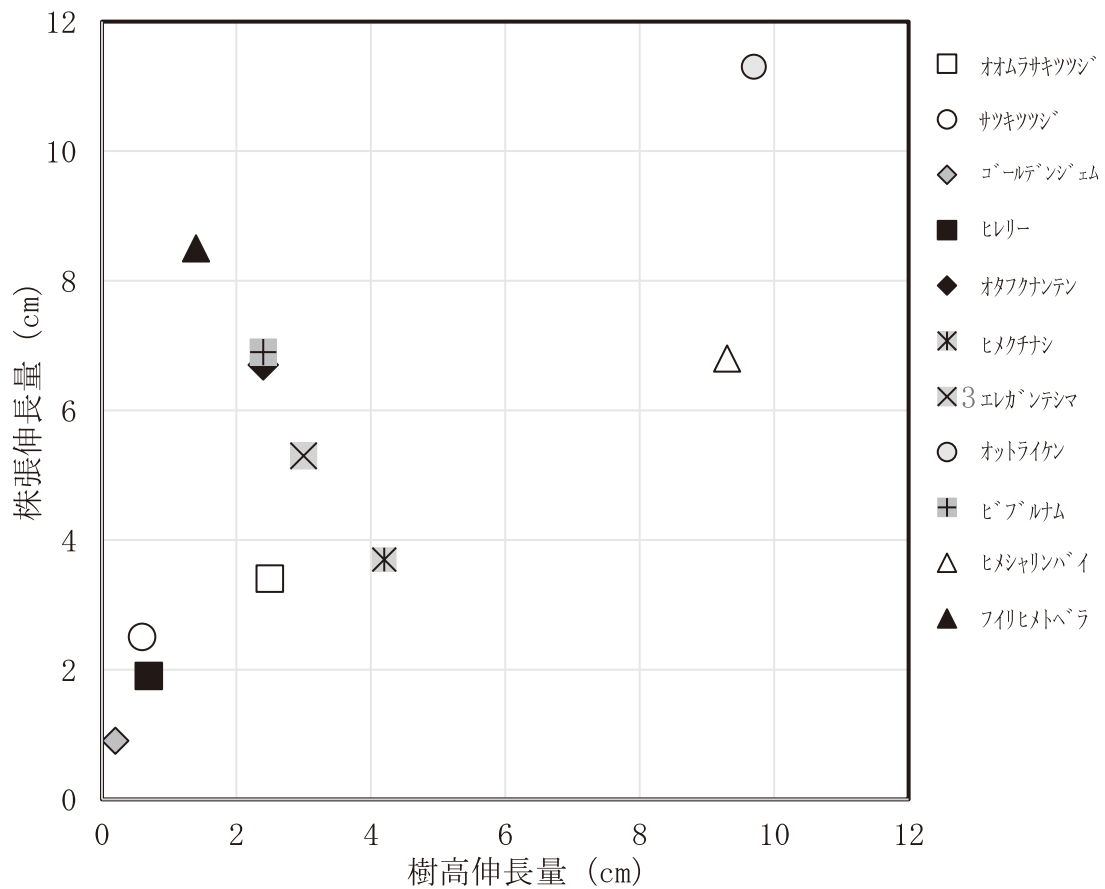


図 1 街路樹低木用樹種の樹高と枝張の伸長量